

以上

授業科目：多変量データ解析特論（大学院科目）

担当教員：高田 佳和 教授

日時：2014年 12月 5日(金曜) 3限

場所：工学部研究棟 IV (旧9号館) 2-1教室

参観者数：3名(マテリアル1名、数理2名)

問5. 本日の講義を聴講して、この授業で優れている点、自分の授業に取り入れたいと思った点についてご記入ください。

- 話し方が高圧的でない。
- 具体例が豊富
- 座学の回と演習・実習の回を分けている。
- 「Rコマンダー」を初めて見た。
- 講義資料が配布される。
- 実際の解析方法をソフトウェアを用いて行って見せているので、わかりやすい。
- 理論を解説して、次に計算機ソフトの使用例の解説を行っている点(理論の活用法が目に見えるので、理解が深まると思われる。)
- 今回は座学だったが、次回は実習とのことなので、より身に付くと思われる。
- 参観者用にも資料が準備されていた点

問6. 本日の講義を聴講して、さらなる授業向上のための提案があれば、ご記入ください。

- 手法の比較(数理or実験)の内容があってもよいのでは。
- (座学の回ではあるが)学生とのやり取りがもう少しあれば。
- 学生は話を聞くだけになっているので、資料に自分で書き込んだり、手計算できる簡単な解析を行わせたらどうか。
- 「Rコマンダー」というソフトの使い方が覚えきれなかったもので、マニュアルも一緒に渡して説明してはいかがでしょうか。
- これ以上は特になし

問7. 本日の授業参観に参加しての感想をご記入ください。

よかった点

- 学生が寝ることなく講師の話を聞いていた点
- 解析例をいろいろ見せて、丁寧な講義だと思われる。
- 少人数クラスなので学生が参加できる形態もやりやすいように思われる。
- 統計的手法の一端が見られた点

悪かった点

- 学生が、講師の話を聞いてメモを取るといった様子がほとんどなかった点

(5) シラバスチェック

本年度は全学的なシラバスシステム的大幅な改変時期と重なったためシラバスチェックは実施しなかった。

(6) 卒業生アンケートの集計結果